



命を守る 大切な学習

2日(金)に、避難訓練を実施しました。今回は、「大きな地震が来たため、まずは机の下へ避難する。次に、その地震の影響で火が発生し、校庭へ避難する。」という想定での訓練でした。実は、1週間前の金曜日に実施する予定でしたが、雨天のためこの日の実施となりました。

1階の避難の様子を中心に見ていましたが、「地震に対する机の下への避難」は下の写真にあるように、どの学年も上手にできていました。

次に、火災が発生し、校庭に避難する場面です。新しい生活様式が身に付いているため、全児童マスク着用の避難となりました。今までは、ハンカチで口と鼻を押さえての避難でした。そのため、ハンカチ忘れの子はちょっぴり困っていましたが、今では、全員マスク着用なので、安心です。

避難後は、全体会で消防署員の代表の方のお話を伺いました。「2分もかからずに全校生が避難できたことは、とても素晴らしいことです。また、避難中は、お話もせずとても素晴らしい態度でした。」とのお褒めの言葉をいただくとともに、平成28年度に本校の「少年消防クラブ」が「消防庁長官賞」を受けていることを紹介していただきました。

その後、下の写真にあるように、6年生の代表児童と先生方が水消火器を使って消火訓練を行いました。上手に消火器を扱う様子に、周囲からは温かい拍手がおくられていました。

命を守る大切な学習である避難訓練。どの児童も真剣に取り組んでいました。特に、近隣で火災があったばかりだったので、児童も緊張感を持って取り組めたのだと思います。



陸上競技交歓会 出場選手を励ます会

7日(水)の業間に、陸上競技交歓会出場選手を励ます会を行いました。今回は、3年生が中心となり応援団、チアリーダーを編成し、本格的な励ます会となりました。今までも、ホームページ等で紹介してきたように、「ひみつ練習」を重ねてきた成果のあらわれる素晴らしい会でした。

ステージ上には、ユニフォーム姿の5・6年生。とってもかっこよく、下級生はあこがれのまなざしで見つめました。そして、下級生の本気の応援に、選手みなさんも、本番に向けて「やってやるぞ。」という思いを新たにしたいのではないのでしょうか?

全校児童が体育館に集い、上級生を思いやる下級生の気持ち。それにこたえようとする上級生の決意。小規模校ならではの、心温まるひとときでした。選手みなさんは、本番では、最後の力を振り絞ってくれることでしょう。

